

令和7年度 森林環境譲与税の使途について（新居浜市）

事業区分	事業名	事業費（円）		事業内容	実績
			うち森林環境譲与税		
意向調査や森林整備の準備作業	林業振興費	875,644	875,644	森林GISを運用するためのサーバリース料及び保守委託料	サーバリース料 森林GIS情報更新
公有林整備	市有林管理費	1,704,504	1,704,504	市有林内の支障木伐採や下刈等の整備を実施した。	下刈 0.4ha 支障木伐採 土砂撤去
森林・林業・木材普及活動等	市民の森管理費	7,894,304	7,894,304	森林公園である市民の森の遊歩道や防火帯等維持管理にかかる業務を実施した。	遊歩道等園内 草刈り実施
森林・林業・木材普及活動等	市民の森整備事業	3,355,000	3,355,000	市民の森園内の老朽化した木製遊具を更新した。	木製遊具1基
林道施設の整備	森林居住環境整備事業	700,000	700,000	基幹林道加茂角野線の開設工事にかかる工事負担金	林道開設工事
木質バイオマス利用推進	木質バイオマス間伐材安定供給整備事業	290,000	290,000	木質バイオマス間伐材の安定供給を図るために運搬費を補助する。	バイオマス引き取り量 725.6t
林道施設の整備	林道管理事業	10,173,080	10,173,080	林道等の維持管理業務（除草、支障木伐採等）を実施した。	除草、支障木伐採 土砂撤去、舗装修繕
林道施設の整備	林道維持管理事業	1,516,000	1,516,000	森林施業の基盤施設である森林組合林道を、適正に維持・管理するための経費に対し、補助を実施した。	森林組合林道 11路線の除草
私有林整備	森林環境保全整備事業費	3,504,000	2,804,000	再造林や保育促進のため、国県補助事業（公共造林事業）の対象事業について市の上乗せ補助（事業費の10%以内）を実施した。	人工造林 1.51ha 下刈 6.51ha 間伐 24.44ha
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	1,436,110	1,436,110	森林経営管理制度に基づき、市に管理委託を希望する山林について、境界点の測量、山林内の立木の樹種・林齢、本数等の現地調査を実施した。	現地調査面積：約13ha
管理施業（切り捨て間伐）	森林経営管理事業	2,310,000	2,310,000	森林経営管理制度に基づき、経営管理権集積計画を作成した森林について、管理施業（切り捨て間伐）を実施した。	管理施業（切捨て間伐） 面積：約4ha
公有林整備	別子山地区森林整備事業	49,617,677	12,930,174	別子山地区内の市有林整備の実施（市有林の搬出間伐、森林作業道の開設）	森林作業道の開設 延長：2,508m 搬出間伐面積：10.67ha
森林・林業・木材普及活動等	誕生祝品贈呈事業	2,243,080	2,243,080	地元企業等と連携し、新居浜市ならではの地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、新生児にプレゼントした。	普及啓発イベント等 開催回数：12回 作成数：200個 配布数：653個
林道施設の整備	林道管理費	6,127,000	6,127,000	別子山地区内の林道等の維持管理を実施	除草、土砂撤去等実施
合 計		91,746,399	54,358,896		

■活用状況(全体像)

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	171,648,000	54,358,896	226,006,896	87.0%	公有林整備事業、公共建築物の木材利用、災害復旧等に活用予定
譲与額(円)	205,825,000	54,034,000	259,859,000		

- ▶ 新居浜市は別子銅山の開坑とともに栄え発展してきたまちであり、銅の採掘により伐採された山々が、明治期の植林事業により現在も青々とした姿を保っている森の自然・風景も、先人から受け継いだ大切な資産のひとつである。そこで本市では、市民に森や木々、新居浜市の歴史を身近に感じられるきっかけづくりとして、平成31年4月に「ウッドスタート宣言」を行い、生活の中に木を積極的に取り入れる取組を推進し、広く市民に普及啓発をすることを森林環境譲与税の活用方針の一つとしている。
- ▶ 令和7年度においては、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として乳児にプレゼントする取組で木材利用の普及啓発を行った。

□ 事業内容

誕生祝品贈呈事業

子育て環境の中に積極的に木を取り入れ、小さいころから木材製品に触れることを通じ、森林の大切さを考えるきっかけづくりとしてもらうため、地産地消のオリジナル木製玩具を製作し、誕生祝品として乳児に地元産材を活用した木製のトロッコをプレゼントした。

令和7年度は、「改正消費生活用製品安全法」（令和7年12月25日施行）に対応した、子供PSCマーク付きの新規玩具を製作。令和8年度以降配布予定。

【事業費】2,244千円（うち譲与税2,244千円）

【実績】作成数 200個（トロッコ100個、キューブ100個）
配布数 653個



(1：製作過程)



(2：令和7年度配布)



(3：令和8年度以降配布予定)

□ 事業スキーム

誕生祝品贈呈事業

資材 1次加工→2次加工→検品→納品→贈呈（5か月健康相談時）

□ 工夫・留意した点

- ・乳児への木製玩具の贈呈は全国的に広がりを見せている「木育」の行動プランである「ウッドスタート宣言」により実施する事業である。
- ・木製玩具は地元産の木材を使用し、地元企業が製作・加工している。
- ・令和7年度は、「改正消費生活用製品安全法」（令和7年12月25日施行）に対応した、子供PSCマーク付きの新規玩具（銅山のキューブ）を製作。より安全な製品とするため、デザインを一新。新規玩具については令和8年度以降配布予定。

□ 基礎データ

①令和7年度譲与額	54,034千円
②私有林人工林面積（※1）	7,209ha
③林野率（※2）	72.9%
④人口（※3）	115,938人
⑤林業就業者数（※4）	34人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より

※4：「H27年国勢調査」より

- 新居浜市の別子山地区の森林面積は7,079haと総面積の約97%を森林が占めるなか、別子山地区の市有林（約1,600ha）の森林機能の向上と有効活用が求められている。
- 地域の北側に位置する市有林は、林道からの距離が遠く、急峻な地形であることから、適正な森林管理が滞りがちであるため、この市有林の森林整備の促進と木材資源の有効活用、雇用促進等による地域の活性化を図ることを目的に、別子山地区森林整備計画を策定し、令和元年度より事業を開始。
- 令和7年度は、市有林内の作業道の開設及び搬出間伐を実施するとともに、間伐材を地域内の木材加工所において活用した。

事業内容

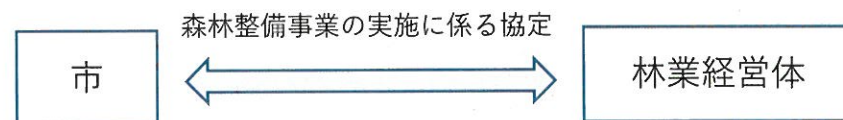
【事業費】49,618千円（うち譲与税12,930千円）

【実績】森林作業道開設 2,508m
搬出間伐面積 10.67ha



事業スキーム

別子山地区森林整備事業



工夫・留意した点

- ・別子山地区に多くの森林を所有し、長年の管理実績がある林業経営体と事業実施に係る協定を締結し、協働で事業を実施。
- ・路網整備、搬出間伐等の実施による森林整備の促進と木材資源の有効活用により地域の活性化を図る。

基礎データ

①令和6年度譲与額	51,278千円
②私有林人工林面積（※1）	7,209ha
③林野率（※2）	72.9%
④人口（※3）	115,938人
⑤林業就業者数（※4）	34人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より
※4：「H27年国勢調査」より